

AO入試 過去問題集

※本冊子は従来のAO入試過去問題集となっておりますが、
医用工学部においては、現在の総合型入試や推薦型入試の
小論文試験対策に生かしますのでご活用ください（抜粋版）。



学校法人
桐蔭学園

桐蔭横浜大学

TOIN UNIVERSITY OF YOKOHAMA

入試問題例

問 題 2016年度～2018年度

自分がめざす医療分野に対して、それに至った動機および、今後どのようにアプローチし、将来どのように関わりたいかについて、適当なテーマ(題目)を設定して、800字以内で論ぜよ。

解答例

貴学の臨床工学科を志望した理由および入学後に学びたいこと

臨床工学技士とは、医師の指示の下に生命維持管理装置の操作および保守点検を行う医療従事者のことである。いわば医療機器のスペシャリストだ。そして、重要なチーム医療の一員でもある。しかし、将来において3万人必要とされる臨床工学技士は、現在において、1万人不足しているのが実情である。

私は幼い頃から皆の役に立ちたい、1人でも多くの人を助けたいと考えてきた。そして、人の命により近い医療従事者になることを決めた。さらに、臨床工学技士の実情を知り、また医療と工学の結び付きに興味を持った私は、臨床工学技士になることを決心した。

臨床工学技士には何が必要だろうか。まず、確かな知識と技術とが挙げられる。そして、知識や技術と同じように、資質も重要ではないだろうか。ミスをしたという責任感や命を救いたいという強い意思、そして患者さんとの対話や医療現場で医師や看護師と的確な意思疎通を図るためのコミュニケーション力なども必要だろう。貴学は、少人数制で教員と学生との距離が近く、疑問を解決しやすい雰囲気を持っており、より正確な知識を得るには良い環境である。また、さまざまな医療機器を用いて実際の医療現場に近い実習を受けることができる点も貴学の魅力だ。私は、貴学の少人数制が作り出す豊かな人間関係の中で、臨床工学技士に必要な知識、技術、そして心を学びたい。そうして立派な臨床工学技士になりたいと考えている。

そのために、私は真剣に貴学での学習に取り組み国家資格取得を目指したい。また、第2種ME技術実力検定試験の合格も目指したい。そして、高等学校で学んでいない電気回路を、フレッシュマンセミナーなどの授業を積極的に活用して、修得したい。

臨床工学技士には、現在は治療困難な病を治すことができる可能性を持っている。そういった意味でも未来の患者さんを救うために貴学で国家資格取得を目指したい。そして、臨床工学技士に必要な知識・技術・心を持って、チーム医療の一員として、立派な臨床工学技士を目指したい。(833字)

書き方のポイント

小論文を書くとき、何に注意して書けば良いのでしょうか。もっとも大切なことは、読み手が一読して、書かれている内容を正しく理解できるようにしなくてはならないということです。そのためには、いろいろな工夫が必要になります。

まず、内容面で注意すべきことは、『一文書一主題』を基本に書いていくことです。与えられた課題に対して書きたい主題を一つ選び、それに沿って文書を書き上げていくことが大切です。

また、読み手が誰であるかを意識しながら書くことも大切です。書こうとする主題に対して読み手が基本的な情報を持っているのであれば、直接書き始めても問題ないでしょう。しかし、まったく情報を持ち合わせていないのであれば、まず予備知識を提供した上で、書き始めなくてはならないでしょう。

次に、体裁面で注意すべきことを考えてみましょう。

文書を構成する文は、できるだけ短くすることを心がけましょう。読み手にとって、短い文書ほど、その内容を容易に把握することができるようになります。また、書き手にとっても、自分の意見や事実を正確に記述しやすくなります。

それと、文と文、あるいは段落と段落との関連を明確しながら文書を書いていくことが大切です。例えば、「AはBです。BはCです。AはCです。」という文を、「AはBです。そして、BはCです。したがって、AはCです。」とすると、内容が良くわかるようになります。つまり、文と文、あるいは段落と段落との関連を接続詞や接続句などで結び付けること(交通整理をするようなもの)によって、大意をあらかじめ読み手に意識させながら読ませていくことができるようになります。読み手にしてみれば、はじめて読む文の方向性がわかっている方が、どんなに読みやすいことでしょう。

これら以外にも、基本的なことですが、句読点を適当に利用する、漢字を使用する、誤字・脱字は避けるなども、良い文章するためには大切です。